

2011/03/30 (水) AM現在

2011/03/30 (水) 9:21 株式会社ベネシス関東第一学術情報部

- ・震災後2週間が経過。この間、当社は安定供給に努め、特約店からの発注に対し、ほぼ100%出荷しております。
- ・東日本の物流センターは稼働をストップしていますが、西日本物流センターから東日本に供給(1,2日の遅れは出る可能性はある)できているので、安定供給に関しては問題ない状況です。
- ・弊社血友病治療薬「クリスマシン」は東北地方における納入実績がございません。北関東では、埼玉医大医療センターでの実績があるのみですが、今月安定供給出来ていると思われまます。

病院状況

- ・震災に伴う茨城県北方面の医療機関の状況を聞く。「半数以上の開業医及び薬局が午前中営業で、病院は患者の対応で繁忙状態」との事です。
- ・福島県の橘厚生病院にてBD治療中患者が震災の影響で秋田に避難。
- ・ひらた中央病院(福島)の方は被災者が続々と送られてこられ、本来240床のところ、400名強の患者さんが運ばれ一部は床にふとんを敷き詰め寝ていただいていたとの事です。簡易ベッドがようやく届き、すべての患者さんにいきわたった様子。

卸概況

- ・東北地区メディセオ(旧潮田)茨城物流に於いて、一部損壊はあったがさほど被害は無かったようです。
- ・東北地区小田島・恒和(東北卸)に医薬品配達支援に四国アルフレッサから5名拠出の予定。
- ・東北震災救済医薬品配達支援にアスティス松山から5名拠出。

以上、確認出来た範囲でご報告致します。

2011/03/29 (火) 9:17 化学及血清療法研究所HP

弊所の血漿分画製剤の製造工場は九州(熊本県)にあり、この度の地震による被害は受けておらず、生産体制に問題はございません。今後も大きな問題が発生しない限り、生産に支障は生じないものと考えております。出荷に関しても、販売会社を通じて製剤の安定供給に努めており、通常通りの出荷を致しております。しかしながら、交通事情の悪い地域については、通常より多少時間を要する場合もございますことにご理解頂きますようお願い申し上げます。

2011/03/28 (月) 20:21 バイエル薬品

> 現在把握できている情報ですが、確認させていただいた施設や卸さんで通常通院されている患者さんへのコーディネートについては問題ないようです。しかしながら、今回は通っている病院自体がなくなっていることもあったり、福島原発の件もあるので、一概に全ての施設の患者さんが大丈夫かどうかを確認できているわけではございません。なお、今後コーディネートを自衛隊のヘリで輸送する可能性がある(花巻空港から盛岡市?)ということで、そのルートと対策を確認中です。停電の影響で冷蔵状態を保てなかった可能性もございますが、3ヶ月であれば室温でも保存可能(凍結を避ける)である旨を病院や卸にはお伝えしております。

2011/03/28 (月) 18:26 日本赤十字

○ 緊急連絡先(24時間対応)

<日中時間帯>

日本赤十字社 血液事業本部 販売管理課 03-3437-7579(ダイヤルイン)

<その他>

日本赤十字社 血液事業本部 販売管理課 担当:入船 090-4380-3895

1) 震災後の供給は回復していますでしょうか。

*震災後も滞りなく製剤を供給しています（震災前と同様の供給体制を維持）

2) 従来の供給先で納品できていない施設はないでしょうか。

*特にありません。

3) 新しく納品の発生した施設はないでしょうか。

*特にありません。

4) 納品のルートで回復していない地域はあるでしょうか。

*特にありません。

5) 被災地域の製剤の納品の流れはどうなっているでしょうか。

*震災前と同様の納品の流れを保持しています。

6) 製剤を扱う問屋の状況はいかがでしょうか。

*日赤製品は、被災地域の各赤十字血液センターから直接、納品を行っていますので、問屋の状況は不明です。

7) 製剤の供給先で機能できない病院はないでしょうか。

*被災地域の各赤十字血液センターMRに確認した結果、特にありませんでした。

8) 製剤が入手できない患者さんはいるとお考えでしょうか。

*被災地域の各赤十字血液センターMRに確認したところですが、特に情報はないようです。（但し、ガソリン不足の状況によって、患者さんが自動車で医療機関へ行くことが難しい可能性はあると思います。）

2011/03/28（月） 17:38 バクスター株式会社

診療可能な医療施設の確認につきましては、以下の方法によっております。

- ① アドベイト納入先
- ② 震災後、既に何度かアドベイト発注を確認した施設
- ③ TELやメール、訪問などの手段で、施設の診療機能を確認した施設

東北4県51施設のうち、49施設が“今も血友病を診療できている可能性が高い”と思われま

す。しかしながら、被災地の情報が大幅に制限されている現時点では、あくまで推測の域を出ておりません。

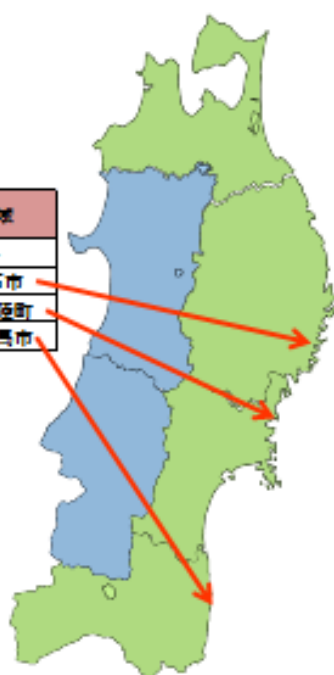
東日本大震災後2週間の施設状況まとめ

*1

県名	AD納入 施設数	機能 医療機関数	震災後 納入施設数
青森	13	13	10
岩手	11	11	9
宮城	12	11	8
福島	15	14	12

*2

県名	沿岸部 施設数	震災後 納入確認	確認不可 施設数	安否懸念 患者数	地域
青森	2	2	0	0	-
岩手	4	3	1	2	釜石市
宮城	1	0	1	1	南三陸町
福島	2	1	1	1	南相馬市



*1 震災2週間後に、ADVATE納入施設のほとんどが医療機関として機能している事をMRの情報収集により確認できた。同時に、医療機関への安定供給も卸を介して行われている事を納入実績により確認した。今後、医療機関と主治医の協力の下、患者さん個々の状況確認に全力を挙げる。

*2 津波の被害を受けた可能性のある沿岸部の施設のうち3施設の状況が確認できていない。今週より、その施設との連絡ならびに患者さんの状況確認を行う。

2011/03/28 (月) 15:41 ノボ ノルディスク ファーマ (株)

被災地への製品供給ルートについてですが、卸を介して発送しているため、詳しい情報は弊社での把握が難しい状況です。しかしながら、卸の発注に対して、卸から指定される出荷先にお届けしますと、多少交通事情により遅れることもございますが、発注先の病院へ確実に納品されている状況です。具体的にはノボセブンの供給状況は以下のとおりです。

●宮城・岩手で患者様がいらっしゃる施設（先天性血友病インヒビター）

- ・独立行政法人国立病院機構西多賀病院： 地震後も発注がきて納品されています。
- ・岩手県立大船渡病院： 地震後も発注がきて納品されています。
- ・宮城県立こども病院：定常的にノボセブンが使用されているわけではありませんが、卸に在庫はあります。

●その他の東北の県

青森県

- ・むつ総合病院：先天性血友病インヒビター患者様用にノボセブンを納品しています。
- ・澤田内科：先天性血友病インヒビター患者様用にノボセブンを納品しています。
- ・八戸日赤病院：先天性血友病インヒビター患者様用にノボセブンを納品しています。

福島県 インヒビター患者さんなし

山形県 インヒビター患者さんなし

2011/03/26 (土) 23:46 松本Dr

岩手の患者さんからの情報です。

＞岩手へモフィリア友の会です。メールありがとうございます。

＞私は何とか生きております。仙台の大学に6日間足止めを食い、帰宅難民になっていました。7日目に、盛岡の自宅に戻りました。製剤は2本手元にありましたが、慣れない事態では非常に不安でした。日赤さんとバイエルさんに、手厚いサポートいただき、なんとか無事でした。

＞岩手の会員も宮城の会員も、被災地との連絡が全く取れません。実家のある釜石・大槌には8日目に道路が開通して行ってきました。被災地に居ると思われる会員は4名です。1名の会員が亡くなったことは確認しました。そのほか2名は、まだ安否の確認ができません。1名はツイッター上に書き込みがあり、直接連絡はつきませんが何とか無事の様です。道路の開通した場所には、メーカーでは十分な供給体制が整いました。心配なのは、連絡の取れない地域です。電話もメールも、もちろん携帯もだめです。何とも手の打ちようがありません。歯がゆいばかりです。とりあえず、ご連絡まで。

2011/03/26 (土) 22:00 バイエル薬品

①コージネイトFSの在庫

弊社の工場及び配送センターともに今回の震災の影響は受けておりませんので問題ございません。

②コージネイトFSの流通状況（3月25日状況）

東北方面の特約店の各営業所までは配送が可能となり、また特約店の在庫確保もされています。特約店から各施設への配送は、医薬品配送用のガソリンが確保されて、問題はない様です。沿岸部の交通が確保されていない所には、自衛隊ヘリで搬送されているらしく、

特約店はヘリポートまでの配送を行っているようです。

③患者様が被災地からの避難でコージネイトFSの持ち合わせが無くなった等情報

患者友の会からの照会や病院Dr.からの照会で、患者さんの移動先での受診可能施設をDr.を通じて紹介、必要時に（定期輸注分も含め）患者様の手元に届ける事ができています。

④3月11日から2週間が経過しましたが、この災害を誘引とした出血や、手術等の情報は入っていないようで、コージェネイト利用の患者様は比較的落ち着いているようです。

以上、取り急ぎ3月26日15:00までに判った状況を報告させていただきました。

2011/03/26 (土) 18:34 セコム薬局

対象は薬害被害者の方のみですが、現在全国で約30名程ご利用頂いており、少しずつですが増えております。実はセコム薬局をご利用頂いている仙台地区の血友病患者さんがおります。幸いにも無事でしたが（本当に良かったです）、病院も被災し、交通網も途絶えた為、必要な血液製剤をセコムのヘリコプターでお届けしとても喜んで頂きました。

2011/03/26 (土) 12:40

東北ヘモフィリア友の会（宮城）からの情報です。

＞ 現在、被災会員の情報が入手困難な状態で、出来る限り連絡していますが、激甚な被災地域の通信網が未だ確立していない事や、非難された方の避難先が不明で3名安否確認が出来なくて居ます。各製薬会社からは十分な製剤供給の案内は頂いていますが、末端の医療機関の状態がつかめません。国立病院機構仙台医療センターの伊藤先生が緊急の対応をして下さっています。小児については、宮城県立こども病院の今泉 副院長が対応して下さいます。

私に入っている情報はその位です。少なくとも、連絡取れた会員で製剤で困っている者はいませんが、交通手段（ガソリンが入手困難で）の問題です。これも今月中に解消すると思います。

現在は情報網の寸断とガソリン不足が大変なようです。

2011/03/25 (金) 20:32 日本赤十字

大阪血液センターの安井です。

3/14に宮城県の血液センターからクロスエイトMの要望があり、大阪から青森空港に輸送し、血液センターの緊急車で岩手県を經由して宮城センターに搬入し、仙台医療センターの先生に処方箋を書いていただき、血液センターの緊急車で避難場所の患者さんに届けた事例がありました。北海道の分画センター（日赤の工場）から当初東北への便が無い為、大阪から当面の在庫を補充していました。現在は北海道の分画センターから十分量の製品は被災地の血液センターに補充されております。

被災地の宮城、福島、岩手では血液搬送用の緊急車でクロスエイトMも供給しております。

必要な数や場所が判れば、医療センターの医師が処方箋は書くことを了承いただいているので、情報さえいただければ患者さんの手元までお届けもできます。

2011/03/25 (金) 20:44 ファイザー

現地での製品供給について

被災地での治療に必要な医薬品については 各県の薬務局に相談されれば 医薬品が入手できる とのこと。各県の 薬務局の電話番号をお知らせします。

各県庁薬務課電話番号

宮城：022-211-2652

岩手：019-629-5465

福島：024-521-7232

2. 弊社ベネフィクスの状況

先日ご報告させていただきましたように、卸の物流センターまでは 薬剤が届いているのは確認できていましたが、医療機関からのオーダーがあった際にきちんとお届けできているのか？ という心配がございました。しかしながら、11日の地震から3日後の14日に 被害の大きかった福島県の 磐城共立病院 ならびに宮城県 仙台医療センターか

ら発注があり、卸さんから納入されたという報告がありましたので、安堵したところです。仙台医療センターでは それまで門前の調剤薬局さんで患者さんが処方してもらっておりましたが、今回の地震を機に 直接病院内で在庫を持つ体制になった と報告を受けております。その他の御施設からは 追加の発注はいただいておりますが、いずれの施設におきましても 普段納入させていただいております卸さんには在庫があることを確認しておりますので、発生時よりも改善している今の物流状況を鑑みるに、支障は無いものと考えております。

2011/03/25 (金) 18:19 血友病診療ネットワーク

血友病診療ネットワークには東北ブロックで約 40 施設が登録されていますので状況をお伺いすることは可能です。内科の施設は 6 施設登録されています。 嶋